

2017 年 3 月 30 日

各 位

株式会社 三井住友銀行

首都高速道路株式会社に「S M B C 環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行( 頭取：國部 毅 )は首都高速道路株式会社( 代表取締役社長：宮田 年耕 )に対するシンジケートローン組成に際して、「S M B C 環境配慮評価融資」を実施致しました。

「S M B C 環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所( 代表取締役社長：淵崎 正弘 )が作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった、首都高速道路株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境マネジメント」「環境保全対策の取組みの状況」「環境ビジネスとコミュニケーション」などの面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を実施されているとの評価となりました。

評価に当たっては、特に以下の取組内容等が高く評価されました。

経営理念と連携し、環境マネジメントを通して環境取組みを推進しておられる点  
ネットワーク整備、ボトルネック対策、ETC システムの普及等による渋滞緩和への取組み並びに、自然エネルギー及び省エネルギーの技術導入などを意欲的に進めておられる点

「おおはし里の杜」や「見沼たんぼ首都高ビオトープ」において、在来種を用いた地域の生態系の維持・再生に取り組み、地域コミュニティと連携した生物多様性保全を進めておられる点

廃材をリサイクルする「サーキュレーション首都高」プロジェクトを展開しておられる点

三井住友銀行では、本業を通じ、環境配慮を進める企業の活動を支援して参ります。



「おおはし里の杜」



「見沼たんぼ首都高ビオトープ」での自然観察会



「サーキュレーション首都高」  
(横断幕をリサイクルしたトートバック)

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。